

豊庄だより



第 748 号 2023 年 3 月 13 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

前号で「おむつ処分に関するアンケートが恣意的だ」と書きました。でもここで「嘘つきめ」と責めるのではなく、そんなアンケートからでもわかることを考えてみます。まず園でおむつを廃棄している園が増えているのは事実です。誇大広告のように書かれてはいますが、保育園の数を補正しても少なくとも半数近くまで廃棄する園が増えているでしょう。ただ元の資料にあった自治体ごとの分布図をみると、廃棄する園は関東に大きく偏っています。これは財源に余裕があり保育園の運営が安定しているからというのものもあるのではないのでしょうか。また調査は保育園の数であって、小さな園でも1としてカウントされています。そう考えてみると④置いてきぼりにされる保育園へのフォローがないという問題点に繋がっていききました。古い園(豊庄保育園のような)や大きな園ではおむつの保管場所や廃棄の動線などを取り入れるのがなかなか難しいという問題があります(それが運営の仕事だろ！と言われればそれまでではあるのですが…)



3月6日

子どもがいたずららしく、かつウイルス感染リスクが高くないような場所というのを捻出するのがなかなか難しいです。

それだけではなく、保育園の中には布おむつにこだわっている園もあります。(そもそも昔は布おむつしかなく、その名残でおむつを持ち帰る習慣が来ています。)布おむつのメリットとしては、経済的・SDGsに即している・肌への負担が少ない…などがあります。その代わり洗濯が大変です。今回の「おむつの処分を園でやる」となると、洗濯の負荷が大きくなり

り布おむつを続けるのは厳しいかもしれません。もしそういった園が紙おむつに切り替えるとなると紙おむつ会社は大儲けでしょう。でも布おむつが淘汰されるのも時代の流れなのかもしれません。(※園長が、福岡市の園長会でこの問題について話したり、全国の保育団体に連絡しても反応がないと嘆いていました)

じゃあ今回の件はどうすれば良かったの？と言われれば、「推奨とせずに補助金だけ出して周知する」や「園で処理するなら処分費用は行政が負担」でも良かったんじゃないかなあとと思います。でも利益がでないことに貢献してくれる会社や人はいないでしょう。それが資本主義であり市場原理です。でも「それって福祉でやっていいことなの？」と思います。税金で動く行政は利益を考えすぎではいけないのではないのでしょうか？福祉は基本的に利益を追求するものではありません。行政が「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するために行うものです。お金儲けを兼ねてサービスの質が保証されるのでしょうか？今回のおむつの処分の通達で様々な会社が儲けを得るでしょう。じゃあその儲けの行先と出所ってどこなんでしょうか？急で強引な動きにはキックバックが絡んでいたりします。今回の推奨で損する人も居ます。だからもっと慎重に、現場(保育園やおむつ会社)との相談を綿密にする三現主義をして欲しかったです。じゃないと「本調査をふまえ」なんて一語で納得などできません。



2月20日

ここまで書いておいてなんですが、おむつの処分を園ですることはとても良いことだと思っています。市場原理の導入についても資本主義なので、頭には来ますが仕方ない所もあるでしょう。でも一方的で急な押し付けや会社の名前を隠した調査、これはダメだと思います。(文責 西尾舜)